

阿智村教育委員会 平成 30 年 3 月定例会会議録

- 会議日時 平成 30 年 3 月 7 日(水) 午後 1 時 30 分より
- 会議場所 保健センター集会室
- 出席者 教育長：黒柳 紀春 教育長職務代理：塚田 紀昭
委員：熊谷 紀夫 委員：原 彰彦 委員：熊谷 歩
事務局：総務兼学校教育係長：塩澤 満 保育園長：長谷川 恵一
子育て支援室長：島岡 佐喜子 共同調理場係長：佐藤 卓郎
公民館兼社会教育係長：石原 哲成 学校教育係：山本 博宣

1 教育長あいさつ

(1) 3 月飯伊市町村教育委員会連絡協議会から

教職員の非違行為根絶に向けた取り組みが浸透してきており、本年度の非違行為は 4 件と少なかった（24 年 33 件、25 年 22 件、26 年 14 件、27 年 11 件、28 年 14 件）。4 件の内訳は体罰 1 件、職員の免許未取得 1 件、校長の監督責任 2 件である。村では大きな事案はなかったが指導上の措置による嚴重注意が 1 件あった。

学校における働き方改革推進の取り組みでは、時間外勤務時間が全県で前年度比一人当たり 1 時間 1 分減少した。1 カ月あたりでは 45 時間以内の学校が 196 校に達している。村ではすべての小学校が 40 時間台、中学校が 50 時間台であり、著しく時間外勤務が多いということはない。IC カードやタイムカードを導入した学校が県内で 100 校を超えており、村でも今後の対応が課題となる。

対外運動競技業務の引率指導手当については、これも働き方改革の一環になるが、県の方針では実績に基づいて 2 人以内の引率で適切な予算執行を行い、無制限には手当を出さないことになった。引率人数が 3 人を超える場合は事前に必ず主幹指導主事と相談をすることになる。

(2) 支援員の配置について

予算審議はこれからであり確定ではないが、学校司書や音楽支援員、部活動指導員、学校教育専門主事について現在人選に当たっている。学校司書は中学校を本務校とし全小学校兼務とする。音楽支援員は第三小学校を中心校とする。部活動指導員は中学校所属である。新年度はこれら支援員の配置が児童生徒の実績向上につながるよう努めてまいりたい。

2 協議事項

(1) 教育委員会関係 3 月補正予算について

- ① 第一小学校教職員駐車場土地返却による更地整備費用 454 千円
借地部分 230 m²を地権者からの返還要求に基づき現状復帰して返却
- ② 浪合学校給食共同調理場冷凍冷蔵庫購入費用 660 千円

【質疑】

(塚田委員)

土地は 10 年ほど前に借りた場所だが、旧調理場跡地の駐車場で対応可能。
冷凍冷蔵庫は必要なものである。

- ・ 2 件ともに承認

(2) 平成 30 年度文化財委員・史料委員の委嘱について

3 月 31 日で文化財委員の任期 2 年が終了するが、下原恒男氏と櫻井正彦氏から辞退があり、新委員として小林正明氏と櫻井成人氏を含めた 10 名を阿智村文化財委員として、平成 30 年 4 月 1 日から平成 32 年 3 月 31 日まで委嘱したい。

史料委員は毎年更新するが、新年度は本年度と同一メンバーで委嘱したい。

- ・ 文化財委員、史料委員ともに承認

(3) 村づくり委員会「子ども応援隊」制服等のリユースについて

村づくり委員会の 3 団体で構成される「あちサポートワーク」は、中学校卒業生の制服等を受付け、希望者に無償提供する取り組みを新年度から始める。

【質 疑】

(塚田委員)

リユースできれば結構なこと。大いにやってもらえばいい。あちサポートネットワークは 3 つの団体で構成するというが、8 月から子ども食堂を運営するという計画はその人たちがやるということか。

(教育長)

関係者から聞いた話では、あちサポートネットワーク関係者を中心に駒場に開設するようである。松川町でも NPO で活動しているグループがあるが教育委員会がある程度金銭的な支援をしていると聞く。子どもに関わることなので、教育委員会としても情報交換をしながら今後の動向を見てまいりたい。相談をしながらやりましょうと伝えてある。

(子育て支援室長)

こういう施設は、民間か公的施設かなど、やり方は色々あるが縛りはでてくる。

(塚田委員)

教育行政が関わってくるとなると前もって意見交換をしていかないと。なから決まったところでどうですかといわれても。「はぐカフェ」は家庭の事情で朝食を食べられないとかの子どもが集まって朝食を摂るということなのか。

(子育て支援室長)

そういう家庭だけでなく、「来たい人はどなたでも」という間口の広い方向で運営している。最近では、学習支援や不登校の子どもの勉強をする場所であったりする。夕方だと夕飯がつくこともある。

(塚田委員)

費用はどこからでるのか。

(子育て支援室長)

費用はほとんどボランティアであったり、食材も野菜なら地域の人から分けてもらおうとか、あるもので行っている。この近くで活動している施設は費用は取らない。

(塚田委員)

チラシは各家庭に配るということだが。

(教育長)

中学校が関係するのは、生徒を通じてチラシを配布するこの部分だけ。

(塚田委員)

チラシにある後援はいらない。教育に関する村づくり委員会はいっぱいあるから後援は外した方がよい。なし崩し的にいろいろなことを後援することになる。

(熊谷紀委員)

「十分に購入できない生徒」の表現はまずい。訂正したい。

(4) 若駒アカデミーアンケート調査について

若駒アカデミー申込者は 57 名で全体の 85 パーセント。出席率は平均で 67.9 パーセント。講座内容に満足・やや満足は 86 パーセント。受講して学力が伸びたと感じる生徒は 57.9 パーセント。講座満足層は学力が伸びたと感じている。受講理由は学力向上やテストの点を上げるため、苦手教科を克服するためなどが多く、得意な教科を伸ばす、応用問題の対応等の回答は少なかった。工夫・改善ではプリントの扱い方や理科・社会の受講希望などがある。子どもの学ぶ意欲につながったと思う保護者は 33.3 パーセント、ややつながったのは 30.3 パーセント、あまり感じないのは 27.3 パーセントで、やや厳しい回答であった。職員の回答は少数である。

来年度は講座回数をやや増やし、選択方法や授業のあり方等を改善しつつ今年度と同じ3教科5講座で実施できるように中学校と打ち合わせていく。

【質 疑】

(塚田委員)

30年度の方がでていますが、レベルに合わせて人数が多くなれば個々への対応が難しくなる。

(学校教育係)

講座を多くすれば少人数でできるが空き教室がない。公民館の利用については、バス通学の子どもに対して時間を合わせるということも開設理由の一つであるので難しい。理科・社会をやってほしいという生徒が12人いたので、12月に理科ぐらいは試行講座を開設したい。

(5) 後援申請について

- ① なみあい夏キャンプ (なみあい育遊会)
- ② 親守詩長野県南信大会 (同 実行委員会)
- ・ 2件ともに承認

(6) その他

・ 海外研修旅行について

シンガポール・マレーシア3泊5日で研修期間を短縮し安価で行けるように計画した。ホームステイは削る。2分1補助のため参加人数にもよるが13万から20万円を切って実施できる。本年度内に動いて人数を把握したい。

【質 疑】

(塚田委員)

14, 15万円で行けるようだが、何人参加すれば研修旅行は成立するのか。

(公民館兼社会教育係長)

例年どおり最少催行人数6名以上は欲しい。

(塚田委員)

シンガポールやマレーシアはいずれも観光地。添乗員はついていくと思うがあと職員はどうなっているか。

(公民館兼社会教育係長)

現地の学校との交流があるのでこちらの職員も予算的に一人付けたい。

4 報告・連絡事項

(1) 入学資金貸与者の決定について

3名の申込みがあり条件を満たしているので3名決定。3名とも大学進学希望だが1名は合否の結果による。

(2) 学校・保育園卒入式のあいさつ・日程について

- ・配車は離任式の校長紹介があるため直接個人で行くことを原則とする。
- ・各校の卒業生数・入学生数、校長略歴を教育委員に連絡すること。

(3) 4月定例教育委員会 4月12日(木)開催

(4) その他

・保育園長より

2月19日高森町保育園で発生した事故をうけ、村保育園では園外活動の際、監視体制に空白が生じないように全体監視職員と活動指導の職員配置を確認し、役割分担・危険個所の事前確認を周知するなど、安全に活動できる態勢づくりに努める。

5 閉会(午後3時20分)

教育委員 署名 捺印